

今より一歩、

心地よい暮らしを考える。

7町エリア限定配布

ニュートラル
Neutral
News

No.05

12年間の寒さが1時間の工事で解決 内窓の威力

となりの

ニュートラル

となりのニュートラルは、ご近所のあのひとが取り組んでいる、暮らしを豊かに心地よくし、環境にもやさしい工夫をお伝えします。今回お話をお聞きしたのは、亀井町にお住まいの黒柳昌子さん。2005年4月、12年間寒さに悩まされ続けてきた、窓が多い築30年の住宅に内窓を導入。黒柳さんが実感した、劇的な変化の話をお伝えします。

知り合いの体験談が決断の後押しに

内窓導入を検討し始めたきっかけについて、「以前から、断熱の勉強会で内窓が良いと話を聞いていて、知り合いが実際に取り入れていたんです」と振り返る黒柳さん。さらに、補助金が活用できるということを目にして、より関心を持ったそう。導入に踏み切るきっかけとなったのは、具体的な費用を聞いたことでした。「知り合いにこっそり、いくらかかったかを聞いたら思っていたよりも意外と工事金額がかからなかった」と黒柳さん。ちょうど台所の水道工事を予定しており、そのタイミングに合わせて業者に相談、導入をしました。

自宅は築30年。「窓がたくさんある家」という表現がぴったりなほどに各部屋には大きな窓が。特に北側の寝室は窓から熱が逃げて冬の時期はひどく寒かったそう。「プチプチシートを貼ったり、結露防止テープを使ったりしましたが、根本的な解決にはならず。夫が窓に近いところで寝ているので、申し訳ないなと思っていました」と、家族への気遣いも導入理由の一つでした。

断熱だけじゃない意外な効果も

内窓の設置工事想像以上に負担が少な



かったそう。「業者さんが手早く進めてくれて、1時間くらいで終わりました。既存の窓枠にはめるだけなので、木部をやり直す必要もなくて簡単でした」と黒柳さん。今回は、寝室の北側やベランダへの掃き出し窓など、合計10枚の内窓を設置しました。

導入当日から、断熱の効果はもちろん、ほかにも意外な利点があったそう。「部屋の中がほぼ無音になりました。『部屋の中がほぼ無音になりました。これまで朝方に通るゴミ収集車やトラックの音などが気になっていました。その悩みも解消できました。』」また、音の問題は外からの騒音だけではなく、室内で遊ぶ子どもたちの声も外に漏れて、道路に出ていると話を話しているのか聞かえるほどでしたが、内窓設置後、それもなくなくなり、ご近所への迷惑も気にならなくなりましたと、安心感も得られたそう。

結露とカビからの解放への期待

黒柳さんが内窓に期待するもう一つの効果は、結露とカビ対策です。「サッシの内側の木が傷んできて、カーテンにもカビがついてしまっていて洗うのが大変でした」とこれまでの悩みを語ります。アレルギーを持つ家族もいるため、「これからの時期、結露を防ぐことでカビの発生も抑え

られることを期待しています」と、健康面でのメリットにも注目。いいことばかりの内窓導入ですが、定期的に窓を開けて換気をする手間は増えたそう。従来の窓とは異なり、部屋の気密性が高くなりすぎてしまうため既存の鉄線入りガラスが熱で割れる可能性があるという、業者さんから説明がありました。

補助金で負担は半額程度に

今回の工事費用は約11万5千円。「国の補助金で半額程度戻ってくる予定です」と黒柳さん。申請から支給まで数か月かかる見込みですが、気長に待つそうです。

「普段使っていない部屋に内窓を入れると、暑くなりすぎて既存の鉄線入りの窓が割れる可能性があります」と業者さんに止められたため、利用頻度の高い箇所への設置となりました。こうした適切なアドバイスがもたらえるかどうか、信頼できる業者選びのポイントだそうです。12年間の寒さと騒音の悩みが1時間の工事解決。黒柳さんの体験から、快適な住環境への投資の価値をわかりました。「これからは夏と冬を迎えるのが楽しみです」という言葉から、より良い暮らしへの期待感が伝わってきました。知人の体験談から始まった小さな一歩が、家族みんなの快適さにつながっていく。そんな身近なやさしいヒントが見えました。



亀井町在住 黒柳昌子さん

岡崎市ゼロカーボンシティ推進課からのお知らせ

ご家庭や事業所への 脱炭素設備の導入を支援します

持続可能な社会の実現と地球温暖化対策を図るため、脱炭素設備の導入を後押しする補助制度をご用意しました。設備の導入費用を抑え、環境にやさしい暮らしや事業活動への転換を実現しませんか？

【家庭向け補助】

家計にやさしく、災害にも強い安心な暮らしへ（補助率：対象経費の最大3分の2）

電気代やガス代の高騰が続く中、ご家庭の光熱費削減といざという時の災害への備えは喫緊の課題です。そこで、以下の設備導入について、対象経費の最大3分の2を補助します。

太陽光発電設備 自宅で電気をつくり、光熱費を大幅削減。余った電気を売電も可能です。

蓄電池 昼間につくった電気を安い深夜電力を蓄え、必要な時に利用。停電時も安心です。

高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど） 少ないエネルギーでのお湯を沸かし、ガス代・電気代を節約します。

エネファーム（家庭用燃料電池） 電気とお湯を同時につくり出し、電気代を節約します。

高効率エアコン 古いエアコンからの買い替えて冷暖房の効率が向上し、電気代を節約。快適な室内環境にもつながります。

これらの設備導入は、光熱費削減だけでなく、災害時の電力確保やCO2排出量削減にも貢献します。快適で経済的、そして環境にやさしい暮らしへの第一歩を応援します。

【事業者向け補助】

コスト削減と企業価値向上を両立（補助率：対象経費の最大3分の2）

事業者の皆さまにとっても、エネルギーコストの削減は経営の重要課題です。そこで、以下の設備導入について、対象経費の最大3分の2を補助します。

太陽光発電設備 事業所の屋根などで発電し、電気料金の削減に貢献します。

蓄電池 電力ピークカットや非常用電源として活用し、BCP（事業継続計画）対策を強化します。

高効率エアコン 従業員の快適な労働環境を確保しつつ、空調にかかる電気代を大幅に削減します。

これらの設備導入は、ランニングコスト削減に加え、環境に配慮した企業としてのイメージ向上にも繋がります。お客さまや取引先からの信頼獲得にも貢献できると考えています。

【お申し込みはお早めに！】

予算に限りがありますので、ご検討中の方はお早めにご相談ください。補助金の詳しい内容や申請方法については、岡崎市ゼロカーボンシティ推進課のウェブサイトをご覧ください。直接お問い合わせください。

補助金については
こちら



まちなか ニューtral

思い出を受け継ぐ ジュエリーリフォーム ものを大切にする心を 次世代へ

ここでは、まちなかにあるちよつと環境を考えた身近な取り組みをご紹介します。今回は、康生通りで時計・宝飾店を営む宝金堂さん（以下：宝金堂）です。

宝金堂は、60年創業、現在5代目が営む20年以上の歴史を持つ老舗店。刀の飾り職人から始まった宝飾の技術を受け継ぎ、戦後からは時計も取り扱っています。

同店では、「ジュエリーリフォーム」に力を入れています。結婚指輪や祖母から受け継いだ宝石など、思い出のあるジュエリーのデザインを現代風にアレンジしたり、指輪をネックレスにつくり変えるなど、大切なものに新たな命を吹き込む取り組みです。特にここ10年ほど、新しいものを買うよりもリフォームの需要が増えており、50〜60代の方の結婚指輪や、30〜40代の方が祖母から受け継いだジュエリーをリフォームする事例が多くなっています。

古い台座には金が多く使われており、現在の金相場では下取りに出すことで製作費用を抑えることも可能。指輪からネックレスへ変更する際には、お釣りが来るケースもあります。

ものを大切にするマインドの広がりやSDGsへの意識の高まりから、修理やメンテナンスの需要も増加しています。思い出を新たな形として残り、長く使い続けることが環境への配慮にもつながっています。



岡ゼロニュース

こんにちは！岡崎市役所ゼロカーボンシティ推進課です。

脱炭素先行地域内の皆さまにはCO2フリー電気のご案内をしていますが、導入によるCO2削減は「住宅から排出されるCO2」だけの話ではないんです。実は、CO2フリー電気を導入したご家庭の「自動車」を、電気自動車やプラグインハイブリッド車（以下：EVなど）にすることで、お買い物やお出かけ時に排出するCO2も削減できるんです。そこで今回は、日々の運転からCO2削減につながる「ゼロカーボンドライブ」についてご紹介します！

ゼロカーボンドライブとは、EVなどの環境にやさしい車と、太陽光などの再生可能エネルギー（以下：再エネ）を組み合わせて、走行時のCO2排出量を実質ゼロにする取り組みのことです。EVなどに乗るだけでなく、車両を動かす電力もCO2を排出しない再エネ由来であることがとても重要なポイントになります。

なぜ今、ゼロカーボンドライブが注目されるのか？自動車は私たちの生活に欠かせませんが、排出されるCO2は、地球温暖化の大きな要因の一つとなっています。ガソリン車からEVなどへの切り替えを進めるだけでなく、それらの電力をCO2フリー電気で賄うことで、移動に伴うCO2を減らし、クリーンな未来へ大きく貢献できます。

岡崎市は、ライフスタイルに合わせた脱炭素行動を応援しており、ゼロカーボンドライブを導入する方へ向けた補助もおこなっています。ぜひ、この機会に「ゼロカーボンドライブ」を実践し、エコな運転を始めてみませんか。

ニュートラル
ニュース
とは

地域情報紙「ニュートラルニュース」は、QRUWA 7町エリア（亀井・籠田・連尺・東康生・南康生・唐沢・伝馬一丁目）で暮らす人や働く人たちの「今より一歩、心地よい暮らし」についてお届けします。そして、実はそれが環境にやさしい取り組みで、その輪を地域に少しずつ広げることを目指します。

バックナンバーはこちら



発行元 ニュートラルニュース実行委員会
岡崎市ゼロカーボンシティ推進課
発行月 2025年11月
印刷 合資会社永田印刷所
企画・編集 Micro Hotel ANGLE（合同会社シテン）
ライティング Micro Hotel ANGLE（合同会社シテン）
デザイン 岡田偉大（ケルン）